

1. 科目名 (単位数)	社会調査法 (2単位)	3. 科目番号	SSMP2107 SNMP2307 SCMP2307 SBMP2107 SPMP2107 PSMP2407						
2. 授業担当教員	金 貞任								
4. 授業形態	講義、小テスト、ディスカッション、仮説作成、質問項目と選択肢作成、面接調査、レジュメ作成と発表	5. 開講学期	秋期						
6. 履修条件・ 他科目との関係									
7. 講義概要	<p>社会調査の目的は、社会事象について現地調査を行い（積極的に数値を利用して正しく測定する）、データを入力し、調査結果から一般的な規則性を見出し、必要に応じて取るべき行動を定めようとするものである。現在、社会福祉など専門分野では、人々のニーズの把握や解決策を量的調査や質的調査に基づいて提案するなど科学的エビデンスが求められている。本講義を受講することにより、社会調査の重要性と、世の中に氾濫する社会調査の真実や問題点を把握することが可能となる。</p> <p>本講義では、次のことを学習する。第1に、社会福祉領域における社会調査の意義と目的、統計法の概要、社会調査における倫理や個人情報保護、社会調査の基本である質的調査法と量的調査法について学ぶ。第2に、社会調査を実施するに当たり守らなければならない個人情報の保護、得られたデータから個人情報の扱いについて理解を深める。第3に、人々のニーズや問題を発見し、それらの原因や解決策を探るために仮説を設定し、それに基づき質問項目を作成する。現地調査（面接調査）の実施によるデータの収集。量的調査と質的調査の調査の方法を学習する。その際には、社会調査が個人のプライバシーに関わるものであることを念頭におき、個人情報の保護、人権に配慮する。第4に、量的調査や質的調査のデータに基づき、現状と関連要因を分析し、発表レジュメを作成し、発表するなど、エビデンスに基づいた社会調査の必要性を理解する。</p>								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.社会調査とは何か、社会調査が必要な理由(社会調査の意義と目的)について理解を深める。 2.社会調査の種類、すなわち事例調査と量的調査の意義について理解し、それぞれ長所と短所を理解する。 3.社会調査における倫理や個人情報保護が必要な理由を把握する。 4.量的調査と質的調査の母集団の標本抽出法、回収率が重要である理由について学習する。 5.グループごとに仮説を設定し、質問項目を作成し、現地調査を実施するなど調査の方法を身に付ける。 6.分析方法（仮説の検証を含む）、分析結果に基づきレジュメの作成、発表、議論の仕方などを実践する。 7.社会福祉士国家試験受験に必要な基礎知識について説明できるようになる（受験予定学生の場合）。 								
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ毎回、次回勉強する内容についてまとめるなど事前学習が必要である。 2. グループごとに先行研究を集め、仮説と質問項目を作成する。 3. グループごとに面接調査を実施する。 4. グループごとに統計分析とレポートを作成し、発表・提出する。 5. 小テストは、随時実施する（持ち込み禁止）。 								
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】 潮谷有二ほか、『社会調査の基礎』ミネルヴァ書房 *授業中に適宜資料を配布する。</p> <p>【参考書】 社会福祉士養成講座編集委員会『社会調査の基礎』中央法規。 東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。</p>								
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.社会調査とは何か、社会調査が必要な理由(社会調査の意義と目的)について理解を深めることができたか。 2.社会調査の種類、すなわち事例調査と量的調査の意義について理解し、それぞれ長所と短所を理解することができたか。 3.社会調査における倫理や個人情報保護が必要な理由を把握することができたか。 4.量的調査と質的調査の母集団の標本抽出法、回収率が重要である理由について学習することができたか。 5.グループごとに仮説を設定し、質問項目を作成し、現地調査を実施するなど調査の方法を身に付けることができたか。 6.分析方法（仮説の検証を含む）、分析結果に基づきレジュメの作成、発表、議論の仕方などを実践することができたか。 <p>○評定の方法</p> <table> <tr> <td>小テストの評価基準</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>授業の態度や内容の把握など</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>レポート・課題提出と発表</td> <td>30%</td> </tr> </table>			小テストの評価基準	40%	授業の態度や内容の把握など	30%	レポート・課題提出と発表	30%
小テストの評価基準	40%								
授業の態度や内容の把握など	30%								
レポート・課題提出と発表	30%								
12. 受講生への メッセージ	<p>公的サービスを提供する社会福祉施設などでは、長期的な計画に基づき収益の確保のために利用者に対するサービスの質と満足度を高める必要があります。そのためには、利用者などを対象にサービス・ニーズやサービス質・満足度などに関する意識調査が必要です。本講義を受講することにより、社会調査の方法を身につけ、社会福祉に関する様々な事象を科学的根拠に基づき評価することが可能であり、就職活動の際に高く評価されます。</p> <p><受講生に期待される学習態度></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業には自分なりの問題意識や課題を持って、積極的な態度で参加することを望みます。 2. 授業のための予習は必ず行い、ノートを整理してください。 3. 理解できないことや疑問点がある場合は、必ず質問してください。質問することは、学んでいる者にとって決して恥ずかしいことではありません。 4. 人が発言している時には、他の受講生は静かに傾聴してください。 								

	5. 授業は、正当な理由がない限り欠席・遅刻・早退をしないでください。 6. レポート等の提出期限を厳守してください。提出期限を守らない場合は、正当な理由がない限り減点の対象となります。 7. 授業中の私語、居眠り、携帯電話の作動、飲食等の学習活動を妨げる行為は厳禁とします。		
13. オフィスアワー	別途連絡する		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	講義概要についてシラバスを中心に説明	事前学習	社会調査法の学習ノートを準備し、講義に臨むこと。
		事後学習	社会調査をしなければならない理由について吟味する。
第2回	1. 社会調査の定義、必要性 2. 信頼性と妥当性について学習	事前学習	1、2をノートにまとめる。(pp.1-6、84-91)
		事後学習	社会調査の種類の短所と長所の内容を復習する。
第3回	1. データ収集の方法について学習 2. 社会調査における倫理と個人情報保護	事前学習	測定と尺度の種類の内容をノートにまとめる。(pp.62-72, 119-121, 13-16)
		事後学習	測定と社個人情報保護が必要な理由について考える。
第4回	1. 従属変数と独立変数を理解する 2. 仮説を作成する：グループ作業 3. 調査対象者の選定：母集団について理解する	事前学習	概念を理解し、仮説と母集団に関する内容をまとめる。 高齢者に関して関心がある資料を集める。 (pp.63-68)
		事後学習	仮説を作成しないとどのような問題が生じるかについて考える。仮説を精査する。
第5回	1. 測定の尺度の種類について学習 2. 質問文と選択肢を作成する：グループ作業 3. 質問文と選択肢の注意点を理解する	事前学習	高齢者を対象に仮説を3つ作成する。質問文の作成と選択肢の内容をまとめる。 (pp.72-81)
		事後学習	仮説に関連する質問項目になっているかどうかを確認する。
第6回	1. 調査対象者の選定：標本調査とは何か、標本の選び方について学習 2. ミニテスト	事前学習	調査対象者の選定方法の内容をまとめる。 (pp.37-53)
		事後学習	標本調査の必要性について考える。 エディティングとコーディングの内容を理解する。
第7回	面接調査（インタビュー調査）：現地における面接調査	事前学習	調査対象者に調査の依頼をする。調査対象者とラポール（信頼関係）を作るための工夫をする。面接調査のための筆記用具を用意する。
		事後学習	高齢者を対象に量的調査を実施するエディティング、クリーニング、データ、変数などの統計用語を理解する。データの入力を完成する。
第8回	データ入力：グループ作業（情報室にて授業）TA 必要	事前学習	データ入力のために必要な作業とは何かについて学習する
		事後学習	データ入力を完成する
第9回	データ分析：度数分布、データ入力ミス発見とデータクリーニング（情報室にて授業）TA 必要	事前学習	データクリーニングとは何かを学習する。
		事後学習	調査対象者の特徴について表を作成する
第10回	1. データ入力ミス発見とデータクリーニング 2. 調査対象者の特徴について発表	事前学習	カイ2乗検定を理解する
		事後学習	仮説に基づきクロス分析と有意差を検定し、表をまとめる。
第11回	クロス集計、カイ2乗検定、変数の加工、値の変換（情報室にて授業）TA レポート作成：グループ作業	事前学習	値の変換を練習する。
		事後学習	レポートを完成する。（グループ作業）
第12回	1. 仮説に基づきクロス分析結果の発表（情報室にて授業）TA レポート作成：グループ作業	事前学習	ダミー変数とは何かを学習する
		事後学習	ダミー変数を用いて相関関係分析を行う。レポートを完成する
第13回	1. 相関関係分析 2. ダミー変数作成（情報室にて授業）TA レポート作成：グループ作業	事前学習	重回帰分析とは何かを学習する（配布資料）。
		事後学習	発表レポートを作成する。（グループ作業）
第14回	1. 仮説に基づき相関関係分析結果の発表（情報室にて授業）TA レポート作成：グループ作業	事前学習	発表レジюмеを完成する、発表レジюмеをコピーする。（グループ作業）
		事後学習	グループごとに反省会を開く。グループの長所と短所について確認し、提出レジюмеを精査する。

第15回	1. 調査結果の発表、レポート提出：グループ 2. ミニテスト	事前学習	発表レジュメを完成する、発表レジュメをコピーする。(グループ作業)
		事後学習	社会福祉のニーズの発見とニーズを解決するために、社会調査をどのように活用すればいいか考える。